



第368号・平成21年12月発行

○諸 報

- 「創立百周年記念募金推進会議発会式」を開催
- 「FD・SD講演会」を開催
- 第8回「一日教授会」を開催

○FDコラム

- ヤマアラシの授業改善ジレンマ ～FD・SDとの適切な距離を保つ～

○主要日誌

- 平成21年11月主要日誌

○行事予定

- 平成21年12月予定

## 「創立百周年記念募金推進会議発会式」を開催

11月5日、平成23年7月に創立百周年を迎えるのに当たり募金活動を推進するために「創立百周年記念募金推進会議発会式」を開催しました。

当日は、学生も含め約80名が出席しました。発会式では、山本学長の挨拶に始まり、推進会議委員長に就任された、本学元学長の山田家正委員長から「経済の情勢が悪い中、募金を如何に集めるか工夫が必要であり、学生の諸君も含めた皆さんと一緒に力を合わせて募金活動に取り組みたい。」との挨拶がありました。また、学生代表の筒井紗也香さんからは、「学生も大学の百周年に少しでも協力できるよう、力を合わせて頑張りたい。」との挨拶がありました。

引き続き行われた懇親会では、全国大会に出場することになったアメリカンフットボール部から「当然、百周年の募金活動には協力するが、その前に全国大会に出場するので寄附をしてもらいたい。」との挨拶があり、会場が笑いに包まれました。

(創立百周年記念事業推進室)



(挨拶する山田委員長)



(学長の挨拶に耳を傾ける部局長・学生)

## 「FD・SD講演会」を開催

11月18日、教育開発センター・学部教育開発部門は、平成21年度小樽商科大学教職員学生指導研究会の一環として、本学のFD・SD活動に理解を深めていただくとともにその推進を図るため、武蔵野大学人事課長・伊藤文男氏を講師としてお招きし、「キャリア教育から学士課程教育へ～武蔵野大学の教職協働の事例～」と題して「FD・SD講演会」を開催しました。

講演では、正課科目によってキャリア開発に取り組んできた武蔵野大学の「キャリア開発プロジェクト」導入の背景・概要を紹介しながら、事務職員がどのようにこのキャリア開発科目群の体系化に関わってきたのかが説明されました。

そして、「キャリア開発科目群」の実践によって見えてきた成果と課題についても述べられ、キャリア教育をおこなうにあたって考えるべきこととして、学士課程における位置付けを明らかにし、大学全体の組織的な取組みとして、統合することが必要であり、その上で、教員と職員の役割を踏まえた教職協働のあり方の模索が必要であるとまとめられ、本学が取り組むキャリア教育の発展に大変参考となるものでした。

約1時間の講演の後、「キャリア教育」・「教職協働」というテーマについて興味・関心を持った教職員（35名の参加）により、活発な意見交換が行われました。

(学務課)



(講演風景)

## 第8回「一日教授会」を開催

市民の皆様から商大に対する意見・要望をお聞きし、商大と地域との絆を深めることを目的に毎年開かれている「一日教授会」が、11月19日（木）、小樽経済センタービルで開催されました。8回目を迎えた今年のテーマは「小樽と小樽商科大学—地獄坂が結ぶ絆—」で、市民、学生、教職員等、約120名が出席しました。

1部では、まず山本眞樹夫学長が「小樽と小樽商科大学」と題して、「2011（平成23）年に創立百周年を迎える小樽商科大学は、小樽市民の熱意と寄附により生まれ、育てられた大学です。百周年の記念事業は市民の皆様と共に祝いたい」と講演しました。続いて、ゲストスピーチとして、小川原格氏（藪半代表取締役）から、市民から見た商大への提言をいただきました。小樽有数の日本そば屋を経営し、また小樽の観光カリスマとして活躍している小川原氏は、特に本学学生に期待を寄せて、「小樽の大人たちがどれだけ真面目に町づくりを考えているか、学生が持つ新鮮な目で見て疑問をぶつけてもらいたい」、「企画段階から、学生が小樽市民と一緒にプロジェクトをやってもらいたい」と話されました。

こういった期待に応え、2部の意見交換会では、「本気【まじ】プロ」、「小樽笑店」、「（株）シーナ（SEA-NA）」といった、商大生が小樽で実施しているプロジェクトの報告がなされました。「本気【まじ】プロ」とは「商大生が小樽の観光や活性化について本気で考えるプロジェクト」の略で、授業の一環として行われています。「小樽笑店」はボランティア精神を持って学生らしいイベントを企画し、地域の活性化を目指す学生のサークル活動です。また、「（株）シーナ」は商大生が起業した会社で、まだまだ知られていない小樽の魅力を発信することをコンセプトに、インターネット広告やホームページの製作、運営を行っています。こういった地元小樽と関係する学生たちの活動には、出席した市民やOBから多くの質問や意見、励ましを頂きました。また、学長からは小樽にもっと多くの学生が住むように、百周年を機に学生寮を建設することが報告され、市民と大学の絆が大いに深まった一日教授会となりました。

（総務課）



（山本学長による講演）



（小川原氏によるゲストスピーチ）



（意見交換会 1）



（意見交換会 2）

## ヤマアラシの授業改善ジレンマ～FD・SDとの適切な距離を保つ～

教育開発センター助教 辻 義人

ここ数年、大学における教育の質保証に対する注目が高まっている。この概念は決して難解なものではなく、その根本は極めてシンプルである。この概念に求められていることは、以下の問に答えることに他ならない。

「大学ではどのような内容をどのように教えているんですか？そして学生はどんな能力を身につけられるんですか？」

大学における教育の質保証と、FD・SD活動（教育機関としての質の向上）とは、切り離せない関係にある。大学教育の質を保証するためには、その取組みについての検証が必要である。つまり、大学教育の質保証を目標とすれば、FD・SD活動は、その達成手段と位置づけられる。

このような背景から、最近では、多くのFD・SD活動の実践・報告が行われている。ここで、特に授業改善に関する報告を概観したとき、その活動の方向性には一定の規則が見られる。一方は、理想的な授業を想定し、その実現を目指す「接近の授業改善」であり、もう一方は、望ましくない授業を想定し、それを避ける「回避の授業改善」である。以下に、それぞれの特徴を述べる

## 「接近の授業改善」

望ましい授業形態や資料を参考として、それに近づけるための自発的改善を促す。

メリット：優れた授業を参考に、各教員の好みに合った改善手法を取り入れることができる。

デメリット：学問分野が異なる場合、授業改善の手がかりが得られにくい。

## 「回避の授業改善」

望ましくない授業展開を参考とし、それを避けるための自制を促す。

メリット：これまで気づかなかった問題点を把握し、意図的に回避できるようになる。

デメリット：講師が自らの授業を客観的に捉えられていることが前提となる。

「接近の授業改善」については、本学はもちろん、多くの教育機関において、多様な形態で実施されている。具体的には、ベストティーチャー賞や、教員間における授業の相互見学、授業評価アンケートの分析などが挙げられる。

その一方、「回避の授業改善」に関する報告例は限定的である。その中で、山形大学高等教育研究企画センターでは「あっとおどろく大学授業NG集」を作成している。これは、学生が望まない授業のあり方を取り上げ、その再現VTRをウェブで公開する試みである。複数のテーマが紹介されているが、個別のテーマは見やすくユーモラスにまとめられており、大変参考になる資料である。これは私見であるが、逆の観点から「あっと驚く大学生NG集」を作成することで、社会人基礎力（経済産業省、2007）の育成が促進されることが予想される。

さて、現在のように、授業改善に関する資料が豊富に得られる状況は、望ましいものである。しかし、授業改善の手がかりが豊富になったために、その適切な選択が難しくなりつつある。例えば、「ゆっくりとした授業ペースによる学生理解の促進」に注目すると、過度に早い授業ペースと同様、過度に遅い授業ペースでも、学生の理解度が低下することが報告されている（柳沢ら、2009）（注1）。この結果は、授業改善の実践例を模倣するのではなく、その実践例に基づき、自らの授業形態に合わせる必要があることを示している。

教育効果の向上を目指す取組みは、それ自体が非常に価値のあるものであ

る。しかし、授業改善は目標ではなく、あくまで教育効果の向上の手段と捉えられるべきである。多様な授業改善の取組みが報告されている現在、大学には教育効果を見据えた授業改善の精選が求められている。ただ教育改善の取組みに近づくだけでなく、適切な距離感を保ち、その教育効果を吟味した上での新たなアプローチが必要であるといえよう。

【参考資料】

経済産業省（2007）今日から始める社会人基礎力の育成と評価～将来のニッポンを支える若者があふれ出す！～，平成19年度 産業競争力強化人材育成事業「社会人基礎力育成・評価手法の開発等」山形大学高等教育研究企画センター（2009）あつと驚く大学授業NG集，学生主体型授業開発共有FDプロジェクト 柳沢昌義・國松美菜帆・福間加代子（2009）授業における講師の話速と学生の理解度に関する研究，日本教育工学会研究報告集，Vol.09-3，87-94

（注1）柳沢らは、学習者が心地よいと感じるテンポ（パーソナルテンポ）に注目し、その早さの程度が学習者の理解度に与える影響について検討した。その結果、パーソナルテンポの早さの程度間において、理解度に統計的な差は見られなかった。しかし、学習者の理解度には、講師の話す速度だけではなく、両者のパーソナルテンポの調和、声質や話し方の「間」など、多様な要因が関連している可能性が示された。

このコラムに関するご意見があれば[教育開発センター](#)までお知らせください。

## 主要日誌

平成21年11月

2	月	<p>夜間主コース（推薦入学・社会人特別選抜）出願期間（～9日）</p> <p>13:00～学生論文賞実施委員会（第2）</p> <p>13:30～課長・室長会(局長室)</p>
4	水	<p>14:30～緑丘企業等セミナー（211講義室ほか）</p> <p>14:30～学生論文賞事前オリエンテーション（104講義室）</p> <p>16:30～地域研究会運営委員会（第2）</p>
5	木	<p>11:00～学生委員会（第2）</p> <p>13:00～百周年事業委員会（第2）</p> <p>15:00～図書館会議（図書館会議室）</p> <p>17:00～創立百周年記念募金推進会議発会式（大学会館多目的ホール）</p> <p>17:30～緑丘企業等企画講座「エントリーシート」（210講義室）</p>
6	金	<p>12:10～入学者選抜方法研究専門部会（教育担当副学長室）</p> <p>14:00～5大学連携事業公開シンポジウム（札幌医科大学記念ホール）</p>
7	土	<p>10:00～緑丘企業等セミナー（214講義室ほか）</p>
9	月	<p>10:30～キャリア教育開発部門会議（研究棟B）</p>
10	火	<p>13:00～教員業績評価委員会（情報処理センター第3実習室）</p>
		<p>9:00～入学試験委員会（第2）</p>

11	水	13:00～広報委員会（第2） 14:30～緑丘企業等セミナー（211講義室ほか） 14:33～ <a href="#">学部教授会</a> （第1） 15:55～ <a href="#">教育研究評議会</a> （第1） 15:20～学生論文賞第1次審査発表会（104講義室）
12	木	10:30～大学評価委員会（第2） 13:05～教務委員会（教育担当副学長室） 17:30～一般常識テスト（210講義室）
14	土	10:00～緑丘企業等セミナー（211講義室）
16	月	アントレプレナーシップ専攻入学試験（組織推薦指定日入試）出願期間（～26日） 11:00～課長・室長会（局長室） 13:00～学長選考会議（第2） 14:00～経営協議会（第2） 15:00～役員会（学長室） 16:00～（役員会終了後）図書館会議（図書館会議室）
18	水	10:30～ <a href="#">アントレプレナーシップ専攻会議</a> （第1） 14:30～緑丘企業等セミナー（211講義室） 14:30～FD・SD講演会（第1）
19	木	9:00～現代商学専攻教務委員会 13:10～就業規則説明会（第1） 17:30～ジョブスタディ（異業種合同セミナー） 18:30～1日教授会（小樽経済センタービル）
21	土	10:00～緑丘企業等セミナー（211講義室） 10:00～夜間主コース（推薦入学・社会人特別）入学試験

		編入学（昼間・夜間主コース）・再入学（昼間・夜間主コース）学力検査
22	日	10:00～編入学（昼間・夜間主コース）・再入学（昼間・夜間主コース）面接
24	火	9:00～教育開発センター運営委員会（総務・財務担当副学長室） 13:00～教員業績評価委員会（第2）
25	水	10:30～学生委員会(教育担当副学長室) 13:00～衛生委員会（総務・財務担当副学長室） 14:30～緑丘企業等セミナー（211講義室） 14:30～図書館運営委員会（図書館会議室）
26	木	13:05～学部教務委員会（教育担当副学長室9）
27	金	13:00～忠南大学ジョイントセミナー（第1）
28	土	平成22年度アントレプレナーシップ専攻後期入学試験説明会（札幌サテライト） 10:00～緑丘企業等セミナー（211講義室） 10:00～夜間主コース（推薦入学・社会人特別）入学試験(追試)
30	月	15:00～図書館会議（図書館会議室）

行事予定表（12月）

1	火	<p>11:00～受託研究受入審査委員会（総務・財務担当副学長室）</p> <p>17:00～現代商学専攻博士前期課程入試説明会（大学会館多目的ホール）</p> <p>18:30～アントレプレナーシップ専攻オープンクラス（札幌サテライト）</p>
2	水	<p>9:00～入学試験委員会（第2）</p> <p>9:30～アントレプレナーシップ専攻入学試験委員会（入試課ミーティングルーム）</p> <p>10:30～アントレプレナーシップ専攻会議（第1）</p> <p>14:30～教授会等（第1）</p> <p>20:10～アントレプレナーシップ専攻オープンクラス（札幌サテライト）</p>
3	木	<p>認証評価訪問調査（～4日）</p> <p>10:00 夜間主コース推薦入試・社会人特別入試、編入学・再入学合格発表</p> <p>17:30～緑丘企業等企画講座「コミュニケーション」（大学会館多目的ホール）</p>
4	金	<p>18:30～第4回OBSフォーラム（アスティホール）</p> <p>18:30～現代商学専攻博士後期課程入試説明会（札幌サテライト）</p>
5	土	<p>10:00～緑丘企業等セミナー（211講義室ほか）</p> <p>16:00～アントレプレナーシップ専攻オープンクラス（札幌サテライト）</p> <p>18:30～アントレプレナーシップ専攻入試説明会（札幌サテライト）</p>

6	日	
7	月	
8	火	
9	水	14:30～緑丘企業等セミナー（211講義室ほか）
10	木	14:30～インナーゼミナール大会（105講義室） 17:30～緑丘企業等企画講座「コミュニケーション」（大学 会館多目的ホール）
11	金	
12	土	体育系リーダーズ研修（L・A）（時間未定, 370講義室） 10:00～緑丘企業等セミナー（211講義室ほか）
13	日	10:00～平成22年度アントレプレナーシップ専攻組織推薦 （指定日入試）入学試験
14	月	
15	火	
16	水	13:00～博士後期課程専任教員会議（第2） 14:30～教授会等（第1） 14:30～緑丘企業等セミナー（211講義室ほか）
17	木	10:00 アントレプレナーシップ専攻組織推薦合格者発表 17:30～緑丘企業等企画講座「コミュニケーション」（210 講義室）
18	金	13:00～センター試験英語リスニング予行演習（第1）
19	土	10:00～緑丘企業等セミナー（211講義室ほか）
20	日	
		平成22年度現代商学専攻博士前期課程（後期入試）・博士

21	月	後期課程入学試験出願期間 (~1月7日) 13:00~役員会 (学長室)
22	火	10:30~衛生委員会 (総務・財務担当副学長室)
23	水	
24	木	10:30~図書館運営委員会 (図書館会議室) 14:00~インターンシップ意見交換会 (第1)
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	仕事納め
29	火	
30	水	
31	木	